

# 次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)

リゾーム型研究者人材育成による学際知能ブレーミング

## 学生募集要項

2026年春入学予定者、2026年秋入学予定者  
2025年春入学者、2025年秋入学者 対象

これまでの支援内容からの変更があります。  
精読して趣旨・内容を理解して応募ください。

大阪公立大学  
博士人材育成支援室

2026年2月

## 1. 事業の目的

本学は、博士後期課程の学生を対象とした文部科学省および国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「次世代研究者挑戦的研究プログラム」(SPRING)に採択されています。

本学では、それぞれの研究の深化・発展の場としての博士後期課程を、他の領域・分野の専門知を積極的に吸収し、多様な専門知を有機的に結合して社会課題の解決や先導的研究領域の創成、未来の社会像を抽出してそれを具現化する能力を養成する「総合知養成の場」へと発展させることを目的として、「リゾーム型研究者人材育成」を掲げてきました。

これをさらに展開して、本学が地域中核・特色ある研究大学強化促進事業で掲げる「マルチスケールシンクタンク機能を備えた成熟都市創造拠点の構築」に貢献し得る人材を持続的に輩出することを目的として、より視野の広いリゾーム型の研究者を目指す優秀な博士学生を支援します。

## 2. 申請資格

2025年春入学者、2025年秋入学者、2026年春入学予定者もしくは2026年秋入学予定者として、大阪公立大学大学院博士後期課程(3年制)もしくは博士課程(4年制)の研究科の選抜試験を受けて合格通知を得ている者、すでに出願した者、あるいは出願を予定している者であり、標準修業年限内(長期履修生の場合は認められた期間内)に学位を取得する意思のある者を対象とします。申請前に、必ず指導予定教員と相談のうえ申請してください。

### 【注意事項】

- ・「留学生(主として、「留学」の在留資格を持って日本に滞在する者)」の「研究奨励費」の支援は2026年度のみです。2027年度以降の支援はありません。
- ・「社会人学生(主として、生活費相当額として十分な水準で、安定的・固定的収入を得ていると認められる者)」に対しても、研究費(研究奨励費・キャリア開発育成コンテンツ費を除く)を支援します。
- ・博士課程教育リーディングプログラム(システム発送型学際科学リーダー養成学位プログラム)に採択されている学生には推薦制度があります。

## 3. 支援内容

本SPRING事業に採用決定された学生に対しては、研究奨励費(生活費相当額)として210万円/年度を支援します。また、10万円/年度もしくは20万円/年度の研究費(自身の研究活動)とキャリア開発育成費は申請制として支援を行います。詳細は採用者に説明会時に通知します。

2026 年度

学生種別	研究奨励費	研究費	キャリア開発育成費
日本人学生	支給あり	支給あり	支給あり
留学生	支給あり	支給あり	支給あり
社会人学生	支給なし	支給あり	支給なし

2027 年度以降

学生種別	研究奨励費	研究費	キャリア開発育成費
日本人学生	支給あり	支給あり	支給あり
留学生	支給なし	支給あり	支給あり
社会人学生	支給なし	支給あり	支給なし

## 4. 支援期間・支援対象者

### 1) 支援期間

- ・2025 年春入学者 : 2026 年 4 月 1 日から標準修業年限まで
- ・2025 年秋入学者 : 2026 年 4 月 1 日から標準修業年限まで
- ・2026 年春入学予定者: 2026 年 4 月 1 日から標準修業年限まで
- ・2026 年秋入学予定者: 2026 年 10 月 1 日から標準修業年限まで

### 2) 支援対象者

- ・2025 年春入学者:

本選考での選抜者であり、2026 年 4 月時点で「2.申請資格」に記載の課程に在籍し、休学をしていないこと。

- ・2025 年秋入学者:

本選考での選抜者であり、2026 年 4 月時点で「2.申請資格」に記載の課程に在籍し、休学をしていないこと

- ・2026 年春入学予定者 :

本選考での選抜者であり、2026 年 4 月時点で「2.申請資格」に記載の課程に在籍し、休学をしていないこと。

- ・2026 年秋入学予定者 :

本選考での選抜者であり、2026 年 10 月時点で「2.申請資格」に記載の課程に在籍し、休学をしていないこと。

●日本人学生:日本国籍を有する者、特別永住者、永住者の配偶者等。

ただし、次の①②の方は支援の対象外です。

①本プログラムと同趣旨の日本国費による研究費の支援を受けている者

例) JSPS 特別研究員

JST「次世代 AI 人材育成プログラム」の対象学生

②生活費相当額として十分な水準(240 万円以上/年)で、安定的・固定的な収入を得ていると認められる者

●留学生：「留学」の在留資格を持って日本に滞在する者。

ただし、次の①②③の方は支援の対象外です。

①本プログラムと同趣旨の日本国費による研究費の支援を受けている者

例) JSPS の特別研究員

JST「次世代 AI 人材育成プログラム」の対象学生

JICA から支援を受ける JICA 留学生

JST 日 ASEAN 科学技術・イノベーション協働連携事業の若手育成対象者

②日本国内外の機関・法人に役員・職員等として所属しながら大学院に籍を置く者

③国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生

※上記②③該当者は社会人学生としての支援対象となる場合がある

●社会人学生：次の条件のいずれかに該当する者

①生活費相当額として十分な水準(240 万円以上/年)で、安定的・固定的収入を得ていると認められる者のうち、日本の法人格を有する会社法人、国家公務員、地方公務員、企業以外の法人の職員等

②海外の機関・法人のみに所属し、かつその所属が海外の大学及び公的研究機関等非営利の期間・法人である者(収入の有無に関わらず)

③日本政府から奨学金を得ている留学生(国費外国人留学生制度の対象学生)のうち、政府所属の者(収入の有無に関わらず)

【注意事項】

- (1) 上記の区分内容の詳細については、**8.申請方法** に記載の Web サイト申請フォーム内の「区分の判断チャート」等もご活用ください。
- (2) 本 SPRING 事業に選抜された学生は独立行政法人日本学生支援機構の特に優れた業績による奨学金の返還免除対象から外れることになります。
- (3) 生活費相当額ではなく、研究費を支援する事業等であれば、博士後期課程学生が当該事業等の支援受給者であっても本 SPRING 事業の支援対象となりますが、予め支援実施事業者に本 SPRING 事業との重複が可能か確認してください。
- (4) 学内情報共有および学外に向けて、支援学生の氏名・課題名・進路を公表する場合があります。
- (5) 二重国籍を有する方については、日本国籍を有するのであれば日本人学生と整理が可能です。なお、二重国籍の方の国籍法における国籍の選択については、法務省のウェブサイトをご覧ください。

(参考) 国籍の選択について - 法務省ウェブサイト

<https://www.moj.go.jp/MINJI/minji06.html>

## 5. 支援学生の責務

本 SPRING 事業は、「我が国の科学技術・イノベーション」に貢献する人材を育成することを目的として推進される事業です。この目的に照らし合わせて、本学の SPRING プログラムの選抜学生には、人材育成の観点から一定の責務を課します。

- ・副研究科等の副指導教員の選定
- ・研究倫理教育及びコンプライアンス教育の受講
- ・研究費、キャリア開発・育成コンテンツの実施計画(支援期間全体計画および年度毎経費計画)の立案
- ・半年ごとの研究進捗状況報告会にて、進捗状況の報告
- ・支援開始後の年度末(秋入学者は前期末)までに国内外留学の計画を立案、標準修業年限内に実施
- ・異分野研究交流会への参加(指導教員および副指導教員の参加は任意)
- ・年間 2 回のメンター相談の実施
- ・独立行政法人日本学術振興会の特別研究員(DC)へ申請(応募資格がある者は必須)
- ・一定科目の履修
- ・未来座談会への参加
- ・JST および本プログラムからのモニタリング調査・追跡調査(JGRAD 登録)

### 【注意事項】

申請にあたり、<https://www.omu.ac.jp/spring/>を参照して、プログラムの趣旨を十分に理解してください。上記のような責務を遂行するためには、指導教員の理解が不可欠です。申請前に、必ず指導予定教員の了解を得てください。また、活動状況等により、支援の停止または返還を求める場合があります。

## 6. 募集人員

- ・2025 年春入学者、2025 年秋入学者(2026 年 4 月支援開始)  
7 名程度
- ・2026 年春入学予定者(2026 年 4 月支援開始)  
74 名程度(日本人学生および留学生:69 名程度、社会人学生:5 名程度)
- ・2026 年秋入学予定者(2026 年 10 月支援開始)  
4 名程度

## 7. 主な日程

- 1) 申請期間:2026 年 2 月 4 日(水)～2026 年 2 月 28(土) 23:59 締切  
「申請フォーム入力、小論文アップロード、写真アップロード」送信提出が必要です。
- 2) 面接日時通知:2026 年 3 月 6 日(金)まで

- 申請フォームに記載の電子メールアドレス宛に通知します。
- 3) 面接実施期間:2026年3月9日(月)～2026年3月31日(火)の期間内で指定します  
(所要時間:約20分)。
- 4) 内定者発表:2026年4月24日(金)予定  
内定者に申請フォームに記載の電子メールアドレス宛に通知します。  
電話やメール等での選考結果に関する問い合わせには応じません。

## 8. 申請方法

- 1) 申請書の作成提出:<https://logoform.jp/form/JvkY/SPRING20260204>
- 2) 本 SPRING 事業の申請案内を掲載している Web サイトより、申請者情報を入力、SPRING 申請書(様式1)、顔写真をアップロード送信提出してください。
- 3) 申請書の提出期限: 2026年2月28日(土) 23:59  
※申請書のフォーマットは日本語版と英語版のどちらを使用しても構いません。いずれかを PDF 形式で提出をしてください。  
※提出時のファイル名を「学籍番号\_研究科名\_氏名.pdf」としてください。本学の学籍番号が無い場合は、学籍番号は空欄としてください。  
※申請は記入項目が多いため、時間がかかります。申請期間を過ぎないよう、余裕を持ってご申請ください。提出期限を過ぎたものは一切受付いたしません。  
※申請期間中に複数回の入力(送信)はご遠慮ください。

### 【注意事項】

- (1) 申請書類に不備のあるものは受理できないことがあります。
- (2) 申請時に提出された書類は返却しません。
- (3) 申請手続後は書類の変更は認めません。
- (4) 入力事項や提出書類の記載事項が事実と相違している事が明らかとなった場合には、本 SPRING 事業への参加資格を取り消す場合があります。
- (5) 申請にともなう個人情報は、選考目的以外には使用しません。
- (6) 本選考に関する費用は無料です。

## 9. 選考方法

### 1) 試験内容

試験科目	配点	概要等
書面審査 (書類)	100 点	SPRING 申請書(様式1)の項目に従って、小論文を作成すること。
口述審査※ (面接)	100 点	オンラインで実施します。冒頭7分程度で小論文の内容をプレゼンテーション(PowerPoint 等使用可)、その後 13 分程度の質疑応答を行います。

※ 博士課程教育リーディングプログラム(システム発想型学際科学リーダー養成学位プログラム)に採択されている学生は、面接は実施しません。小論文のみで審査します。

## 2) 判定方法

書面(書類)審査ならびに口述(面接)審査の採点結果に基づき評価します。採点は評価表の項目内容に沿って、実施されます。評価表は次頁を参照ください。

次世代研究者挑戦的研究事業 選抜評価表

評価項目	評価外・評価不可	標準を大きく下回る	標準以下	標準	標準以上	標準を大きく上回る
	0点	1点	2点	3点	4点	5点
1 トランスファラブルスキルの重要性を理解し、身に付けようとする意欲がある。	まったくない。	あまりない。	理解しているが、具体性に欠ける。	よく理解し、説明できる。	よく理解し、具体的な計画を考えている。	よく理解し、具体的に活動している。
2 修了後のキャリアパスを意識し、社会でどのように活躍・貢献したいかを考えている。	まったくない。	あまりない。	考へてはいるが、具体性に欠ける。	考へており、説明できる。	考へており、具体的な計画を考えている。	考へており、具体的に活動している。
3 自身の研究以外の分野への関心と、それらを理解し取り込もうとする強い意欲がある。	まったくない。	あまりない。	あるが、具体性に欠ける。	強い意欲があり、説明できる。	強い意欲があり、具体的な計画を考えている。	強い意欲があり、具体的に活動している。
4 現在社会の課題解決・先導的研究領域の創出・未来社会の創出と自身の研究の関係が理解できている。	まったくない。	あまりない。	理解しているが、具体性に欠ける。	理解しており、説明できる。	理解しており、具体的な計画を考えている。	理解しており、具体的に活動している。

## 10. 面接日時および場所(オンライン)

- ・この事業の趣旨を十分に理解できていることを確認することを目的として、2026年3月9(月)から2026年3月31日(火)の期間内で日時を指定して面接を実施します。
- ・上記期間内で、学会発表等の正当な理由により面接を受けることができない時間帯がある場合は、申請フォームの所定欄に理由を添えて面接を受けられない時間帯を明記してください。(後日、理由を証明する文書等の提出を求める場合があります)。ただし、これによって特定の時間帯以外での面接を確約するものではありません。
- ・面接の所要時間は最大約20分です。冒頭7分程度で小論文(申請書)の内容をプレゼンテーション(PowerPoint等使用可)、その後13分程度の質疑応答を行います。
- ・実施日時、ならびにZoomのURLは、3月6日(金)までに、申請フォームに記載の電子メールアドレス宛にお知らせします。当日16時30分までに連絡がなかった方は、必ず同日17時までに、「12.問い合わせ先」に記載のメールアドレスまで連絡してください。
- ・博士課程教育リーディングプログラム(システム発想型学際科学リーダー養成学位プログラム)に採択されている学生は、面接は実施しません。小論文のみで審査します。

### 【注意事項】

- (1)自然災害等により、面接が予定通り実施できない場合、「緊急のお知らせ」をメールで配信しますので、確認してください。
- (2)面接当日の緊急連絡先は、「12.問い合わせ先」と同じです。

## 11. 注意事項

本SPRING事業の選考の合否は、大学院入試とは関係ありません。入学前に本SPRING事業に合格されても、大学院入試は免除されません。

また、本SPRING事業では、入学料・授業料の減免・補助は行いません。入学料・授業料の減免・補助その他の本学で実施する経済支援制度については、それぞれの制度担当にお問い合わせください。

その他、政府方針等に応じて、支援内容や支援期間等が変更される可能性がありますので、予めご了承ください。

## 12. 問い合わせ先

本SPRING事業申請について質問がある場合は、下記あてに問い合わせください。なお、問い合わせはメール受付のみとします。予めご了承ください。

大阪公立大学 研究推進課 博士人材育成支援室

メール:[gr-knky-2024dss@omu.ac.jp](mailto:gr-knky-2024dss@omu.ac.jp)

## SPRING 申請書(様式 1)

(1)-1 自身の研究について、研究目的、研究方法、研究内容、研究の特色・独創性(先行研究等との比較、研究完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等)を簡潔、かつ、わかりやすく記述してください。異分野の人が読んで理解できる表現で記述してください。(1200 文字程度)図表を用いる場合は、最終ページ 1 枚以内でまとめてください。

(文字数:)

(1)-2 学位を取得するまでに、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記述してください。  
(600 文字程度)

(文字数:)

(2) 自身の研究が、(1)社会課題の解決、(2)先導的研究領域の創生、(3)未来社会の創出 のいづれか、もしくは複数とどのように結びつくと考えているのか、具体的に記述してください。(600 文字程度)

(文字数:)

(3) 学位取得後のキャリア形成や自身の研究の社会実装さらには自身の総合知獲得のために、自身の研究分野以外にどのような分野に関心があるのかについて、簡潔かつ具体的に記述してください。単に研究の効率や確度の向上の手段を問うているのではありません。異分野の研究の導入によって、自身のテーマをどのように拡張し、自身のキャリアにどのように生かそうと考えているのかについて記述してください。(500字程度)

(文字数:)

(4) 「日本の科学技術・イノベーションに如何に貢献するか」という観点から、博士課程修了後の自身のキャリアパスに関する考え方と、将来社会においてどのように活躍・貢献したいかについて記述してください。(500文字程度)

参照 科学技術基本計画及び科学技術・イノベーション基本計画 - 科学技術政策 - 内閣府 <https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/index6.html>

(文字数:)

(5) (4)で記述した内容を実現するために、どのようなトランスファラブルスキルが必要と考えているか、および、それを獲得するための方法について、簡潔かつ具体的に記述してください。(500文字程度)

(文字数:)

図表を用いる場合は、このページに貼り付けてください。図表番号やキャプションを付して、申請中の引用箇所が明らかになるようにしてください。1枚以内に分かりやすくレイアウトのうえ貼付してください。